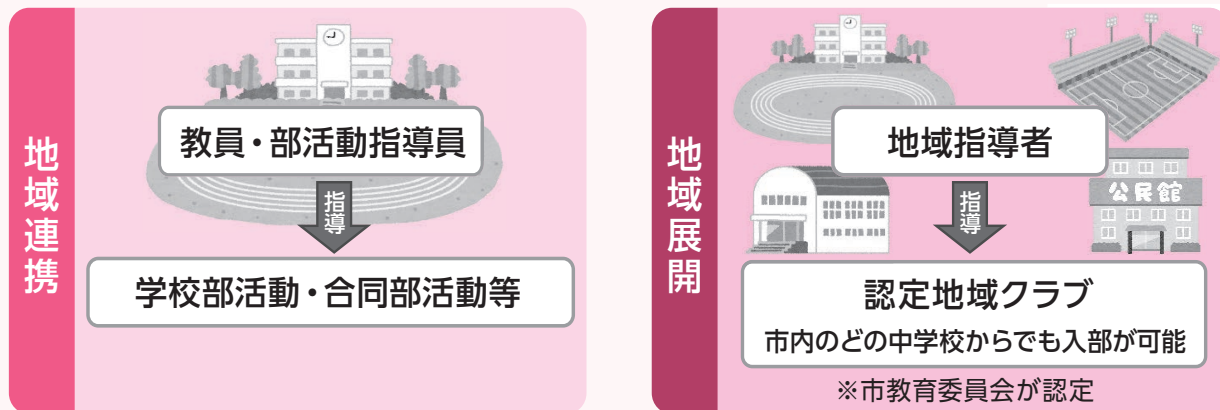


本市では、**学校部活動と地域クラブ活動の両輪**で 子どもたちの活動を支えます



地域連携と地域展開、どう違う？

	地域連携	地域展開
活動の形	学校部活動・合同部活動等	認定地域クラブ
指導者	教員・部活動指導員	地域の指導者※1
活動場所	学校施設	学校施設を含む地域の施設等※2
活動する生徒	在校生、または合同を組んだ学校の生徒	学校を越えた地域の中学生

※1 教員が認定地域クラブの指導者になる場合もあります。 ※2 学校施設を利用する場合は、完全下校以降となります。

ちょっと詳しく！ 地域連携には、こんな活動の形があります

教員による指導



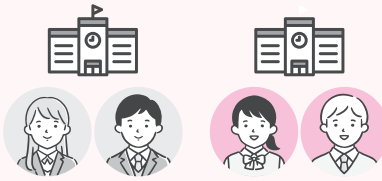
教員が学校部活動を指導します。

教員と部活動指導員による指導



教員と部活動指導員が連携して指導します。

複数校による合同部活動



部員が少ない種目などで、複数の学校が合同で活動します。

知っておきたい！Q&A

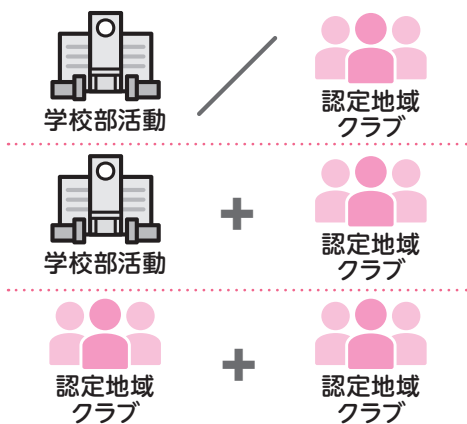
Q 認定地域クラブでも大会・コンクールに参加できる？

A 認定地域クラブが、日本中学校体育連盟（中体連）に登録した場合は中体連主催の大会に、吹奏楽連盟等に登録した場合は連盟主催のコンクールに参加できます。

Q 運動部系の学校部活動と認定地域クラブの両方に所属した場合、大会出場はどうなる？

A 中体連主催の大会は「1人1種目」の規定があり、学校部活動・認定地域クラブのいずれか一方からの参加となります。

こんな活動の仕方があります



特集

子どもたちの“やってみたい！”を地域で支える！

学校部活動を取り巻く環境が変化中、中学生が将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことができる機会を確保するため、部活動のあり方が見直されています。

▶学校教育課 ☎64・3179

全国で進む部活動を取り巻く環境の変化

①少子化による生徒数の減少



生徒数の減少により、学校によっては、これまでどおりの種目や活動を維持することが難しくなっています。

②生徒のニーズの多様化



生徒が希望する活動はさまざま。多様な活動に参加できる環境が求められています。

③学校における働き方改革



教員の負担にも配慮した、持続可能な活動環境づくりが求められています。

中学生が継続してスポーツ・文化芸術活動に 親しむことができる機会を確保

子どもたちが「やってみたい」と思える活動を継続できる環境づくりを進めます。